

第3回 適正配置実施計画検討委員会 発言要点録

日 時：平成23年8月18日（木）午後3時から

場 所：教育委員会室

出席者：阿形学校教育部長、古橋学務課長、関北大泉幼稚園長、齋藤光が丘あかね幼稚園長、宮崎光が丘むらさき幼稚園長、石橋光が丘わかば幼稚園長、瀬田光が丘さくら幼稚園長、芝田統括指導主事（教育指導課長代理）、齊藤職員係次席（庶務課長代理）、金子新しい学校づくり担当係長（新しい学校づくり担当課長代理）

事務局：学務課学事係

次第

- 1 第1回・第2回 検討委員会要点録の確認
- 2 区立幼稚園の適正配置実施計画（素案）について
- 3 8月23日開催の教育委員会について
- 4 今後のスケジュール確認

検討事項および主な意見

1. 区立幼稚園の適正配置実施計画（素案）について

<今後の区立幼稚園のあり方>

- ・基本方針に示されている4項目のうち、「生きる力と豊かな心の育成」については、他の3項目と並列ではなく、幼児教育全般に関わる項目として、前段の「2 区立幼稚園適正配置の基本的な考え方」のすぐ後に入れた方がよい。
- ・私立幼稚園との連携強化について、もう少し記述できないか。
- ・私立幼稚園との連携は、相手のあることだから難しいが、私立幼稚園にも障害児を受けてもらおうところで、区立幼稚園のノウハウを生かす形での連携はできる。
- ・特別支援の公立・私立合同研修会などができないか。一緒に勉強しましょう、とできればよい。
- ・連携強化というタイトルから強化をはずして「私立幼稚園との連携」とし、中身の書き方を工夫したい。
- ・就労のためというより、用があるときに一時的な保育をしてほしい、という声はとても多い。専門保護者への支援は考えていく必要がある。現在は、月に1回だけ、無料で預かり保育をやっている。
- ・月1回の預かり保育の機会を少し増やす、ということならば、書けると思う。

<光が丘地区における区立幼稚園4園の適正配置について>

- ・選定項目を「子どもの数」として、園児数および充員率を使ってはどうか。

- ・土地・建物の権利関係を選定項目に入れるかどうか、考えたい。
- ・2園になったとき、今までだったら区立幼稚園に来ていた人たちが、残る2園に来てくれるか心配である。
- ・現在、子どもたちがどの地域から通ってきているか、詳しく資料で確認したい。
- ・保護者説明会で、3年保育について聞かれたときに、もはや「検討します」という段階ではない。私立幼稚園との関係があり、実施はできない、と説明せざるをえない。私立との約束で幼児教育の中身を決めるのはおかしいじゃないか、という批判はもちろん受けることになる。
- ・小さい園（6学級）を2園残すと、現状通っているような子どもたちが、さくら幼稚園とむらさき幼稚園に行けるのか。むらさき幼稚園だけがいっぱいになってしまうのではないか、という心配もある。

<廃止予定の園における具体的な対応>

- ・最低学級編制基準を10名としたが、いつの時点での10名か、という問題がある。2日間の募集期間内に10名以上の応募があるかどうかで判断することになると思う。
- ・10名未満の場合に他の幼稚園に振り替える、と言っても、むらさき幼稚園は抽選になってしまうかもしれない。
- ・この機会に、定員や抽選の考え方は整理した方がよい。
- ・欠員があったときには途入园を受け入れてもよいが、抽選になったときは途中入园は受け入れない、としたい。
- ・応募状況をみて柔軟に判断できるよう、10名未満だったら学級編制行わない、と言い切らずに、「原則として」と入れてはどうか。
- ・10名のうち8名が特別支援が必要な場合など、学級運営に支障をきたす場合には、園を振り替える場合がある、と謳いたい。

<適正配置実施後の跡施設等の活用>

- ・適正配置で浮いた財源は、幼稚園教育に使うと言っている。
- ・特別支援の介助員が非常勤で配置できるとよい。

3. 8月23日開催の教育委員会について

- ・本日（8月18日）、教育委員長あてにA4裏表で適正配置の考え方を説明した資料を送付した。協議なので、委員さんからも意見をもらう。

4. 今後のスケジュール確認

- ・抽選は、面接のあと、健康診断の前。10月25日が想定される。
- ・保護者あての入園決定通知が終わったら、案を取る予定。11月初めとなる。